

ゲノム編集トマトの苗が小学校に無償配布される？

パイオニアエコサイエンス(株)が、ゲノム編集トマト「シシリアンルージュ ハイギャバ」の苗を2023年に小学校へ無償配布する計画を発表しました。

子どもたちにゲノム編集トマトを栽培させること、食べさせることに反対します。

2020年12月、ゲノム編集トマト「シシリアンルージュ ハイギャバ」の届出が政府に受理されました。GABA は血圧抑制効果があると言われるアミノ酸です。トマトはもともと、GABA の合成を抑制する仕組みをもっていますが、「シシリアンルージュ ハイギャバ」は自己抑制の働きをゲノム編集技術で破壊することにより GABA を増量しています。(通常の約5倍)

ゲノム編集では、目的の遺伝子以外の DNA を切断してしまう「オフターゲット」や、目的としていない文字列を偶然取り込んでしまう場合など、意図しない改変を起こすことがあります。これらの意図しない改変が起こるとたんぱく質が変質する場合があります、その毒性やアレルギーの発生が懸念されています。また、「GABA を摂りすぎても大丈夫なのか」という問題もあります。

このように安全性が確認されていない食品を子どもたちに作らせること、食べさせることがあってはならないと思います。

日本では、このトマトの他にもゲノム編集による真鯛、トラフグがネット販売されていますが、何の規制もなく生産・流通することが認められており、開発企業に対しては自主的な「届出」を求めるにとどまっています。表示義務も無いため、消費者はゲノム編集されていない食品を選ぶことができません。

ゲノム編集の問題について、皆さんと一緒に学びながら声を上げていきたいと思っています。

